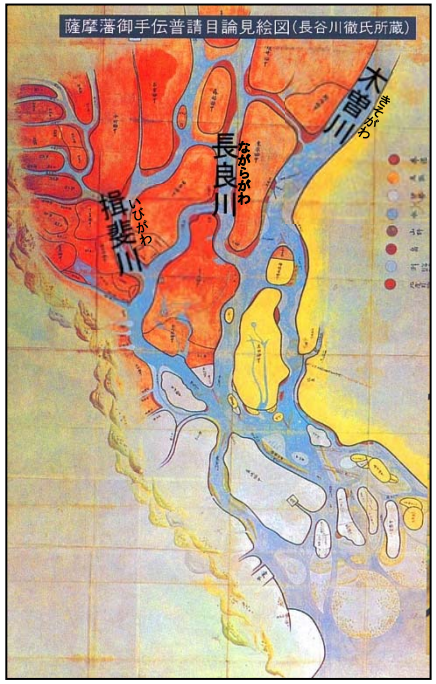
ワークシート．木曽三川の治水の歴史

年　　組　名前（　　）

昔の木曽三川の姿



明治時代の木曽三川の姿

工事の陳情（国へのお願い）　資料3

洪水に苦しんでいた人々は、木曽三川の工事のお願いを出しました。

美濃の国の村々は、毎年、水による被害がふえて、今では低い土地では作物を作ることができなくなっています。
良い土地の村々でも毎年、水の被害を受け、年によっては作物がまったくとれなかったり、半分しかとれなかったりしています。
そのため農業を続けていくのがむずかしくなっています。そのため、土地をすてて、出ていってしまうものもいます。
今回、村々が集まり、水の被害がなくなり、水の流れも良くなり、大垣から三重県までの村がもとのすがたに立ち帰り、よい土地となりますよう、工事のお願いを申し上げます。

■今日の授業を通して、昔の人や国がどんな取り組みをしてきたかなど、わかったことをまとめましょう。